建設報道
週刊ワークス
WORKS
2022 8-2号
毎週月曜日発行
発行元 ㈲サムライズ
大分市大字光吉1015番地12 TEL 097-567-0324 FAX097-569-7994 E-mail:info@eworks.jp
月間購読料 ¥6,380 税込み （FAX・メール情報サービス込み） HPアドレス：http://eworks.jp/

ご購読者様各位

平素より、週刊WORKS・日刊WORKS・建築速報をご購読いただき誠にありがとうございます。
炎暑の折、皆様方におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。
弊社では、夏期休業のため誠に勝手ながら**8月15日号の週刊紙を休刊**させていただきます。次回発行は、15日・22日号との合併号となります。
また、**日刊紙の入札情報8月15日号と、建築速報8月15日号を休刊**させていただき、**入札情報は8月16日号、建築速報は8月17日号より**発行いたします。何卒ご了承いただきますよう宜しくお願い申し上げます。
＜WORKS編集部一同＞

言い分 even

国土交通大臣認定 H グレード
信頼のファブ
清松総合鐵工株式会社
Kiyomatsu Steel Structure co.,ltd.
代表取締役社長 清松 芳夫
(Yoshio Kiyomatsu)

vol.7 「原因と結果の法則」

2005年前後だと思う。僕は45歳前後だったと思う。バブル崩壊後の長引く不況の中で（山一証券破綻＝1997年）すっかりヤル気を失っていた頃、考えることは「どうして自分がこんなに苦しい状況に追い込まれているのか！？」そして「誰のせいで自分が辛い想いをしなければならないのか！？」ということだった。当時は、「オヤジがこんな会社を造ったせいで、一部上場の大企業で世界を相手にして華々しく仕事をしていたオレが、こんな惨めな状況に追い込まれている」と思っていた。

息子が少年野球で大分県優勝し、水戸で行われた全国大会に行くことが決まっても、その旅費のことを考えると素直に喜べない状況で、実に、女房だけの旅費でさえ大変な想いをしてかき集めて、息子の晴れ舞台を応援したい気持ちでイッパイなのに、悶々としながら家で結果を待っていた。

「こんな会社では力が発揮できない。環境が悪すぎる。」と、古くからの友人に愚痴をこぼしながら居酒屋で飲んでいた時に、その友人が薦めてくれたのが、ジェームスアレンが1902年に著した『原因と結果の法則』という本。聖書に次いで読まれている自己啓発本とのことであった。その本には幸せになれる方法や考え方が書かれていた。一番その頃の僕に響いたのは「私たちの人生は私たちの思いによって作られている。」という言葉。本の中では、「その人が置かれている環境もまた、その人の思いの結果である。」と書かれていた。人生で起こることは全て、たった一つの法則である『原因と結果の法則』に従っていて、偶然などは存在しないし、例えばコロナ禍であるというような環境もまた、その法則の例外ではないことが説明されていた。

この『原因と結果の法則』で出会って以来、僕は「良い結果」を求めるのではなく「良い原因」を作ることに生きる意味を見出すようになった。そしてその考え方を進めて、自分にとって都合の悪いことが起きた時は、テレビ等のメディアで盛んに行われているような「犯人捜し」をするのではなく、「だったら、僕に何ができるのか？」を考えるようにしている。例えばコロナ禍の時は、小規模サービス業の方を助けるために「よっしぃキヨマツの応援しちゃん券」を発行したり、今回のロシア・ウクライナ問題では「レノンウォール」を作ったりした。それぞれの活動内容については、文字数制限の中詳しくは書けないが、またいつかこのコラムで紹介できる日が来るかも知れない。

2022 ADMIRATION OF STUDENT LEADERS' AWARD 20万人の学生があこがれる経営者アワード LEADERS'AWARD

Personal Profile

1961年生まれ。福岡県北九州市出身。座右の銘：面白ろ可笑しく、尊敬できる人：松下幸之助。大分大学大学院修了後、三井造船株式会社プラント事業本部（海外事業部）を経て現在鉄骨工事業（ファブリケーター）。趣味は読書。（速読ができる）